

昭和53年度 北海道に発生した森林害虫

こ いずみ つとむ
小 泉 力
(1979. 4. 28受理)

1. 昭和53年度の害虫発生状況

表-1 昭和53年度森林害虫発生概要

害虫名	樹種	発生地(面積ha)	備考
スギノハダニ	スギ	八雲町(40.52)	前年、大野町459ha、七飯町560haなど道南部で大発生している。本年は報告がないが、前年につづいて発生していると思われる。
トドマツノハダニ	トドマツ		各地の苗畑
スギマルカイガラムシ	トドマツ、イチイ		各地の庭園樹
イヌガヤワタカイガラムシ	イチイ	札幌市、江別市	その他各地の庭園樹に多く発生している。
ヒメカサアブラ	トドマツ	桧山署	苗畑。据置苗に発生
カサアブラの1種	クロマツ	森町(28.50)	前年につづいて発生
エゾマツカサアブラ	エゾマツ		報告はないが、各地の幼齢造林地に発生している。
カラマツカサアブラ	カラマツ	神楽署(15.40)	
トドマツオオアブラ	トドマツ	北海道局(5290.54) 函館支局(436.00) 旭川支局(529.07) 帯広支局(344.40) 道有林(2420.00) 民有林(1653.25) 合計10673.26	防除面積 北海道局 3532.47ha 函館支局 248.00 道有林 2420.00 民有林 1497.74
エゾマツオオアブラ	アカエゾマツ	北海道局(204.00) 函館支局(3.00) 旭川支局(80.93) 帯広支局(868.30) 道有林(1942.00) 民有林(78.38) 合計3176.61	防除面積 道有林 1942.00ha 民有林 77.88
カラマツオオアブラ	カラマツ	苫小牧林務署(20)	防除。
マツオオアブラ	マツ類		報告なし。
トドマツノタマバエ	トドマツ	白糠署(201.00)	微害117.40ha、中害36.75ha、激害46.85ha 前年につづいて発生。
スギタマバエ	スギ		道南スギ造林地に散見。
マツバノタマバエ	クロマツ	桧山署(59.00)、江差町	昭和51年、砂坂海岸林に侵入初期とみられる被害が発見されて以来、被害面積は増加。
カラマツタネバエ	カラマツ		各地の採種園。
クリタマバチ	クリ		道南各地でひき続き発生。
シラカバノクロボシハムグリハバチ	シラカバ	札幌市	その他各地で散見。
オウトウナメクジハバチ	サクラ、ナナカマド	小樽市、札幌市、苫小牧市、帯広市	その他各地に発生、全葉食害。
オオアカズヒラタハバチ	ヨーロッパトウヒ		報告なし
エゾマツハバチ	アカエゾマツ、トウヒ類	江別市(5.00)	北海道林木育種場、新葉を食害。

害虫名	樹種	発生地(面積ha)	備考
カラマツキハラハバチ	カラマツ	浦河署(220.40), 新得署(433.10), 清水署(250.00), 帯広署(120.00), 大樹署(195.60), 広尾署(56.00), 上士幌署(150.00), 本別署(70.00), 足寄署(60.00), 陸別署(120.00), 池田林務署(89.00), 静内町(201.50), 鹿追町(530.00), 新得町(22.00), 清水町(800.00), 本別町(2938.00), 足寄町(6375.00)	日高, 十勝地方の内陸にかけて大発生 (国有林計 1675.10ha) (道民有林計 10955.50)
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	苫小牧市(128.00), 早来町(30.00), 厚真町(75.00), 穂別町(150.00)	前年につづいて発生, 被害面積は増加
キイロアシブトハバチ(?)	シラカバ	札幌市	庭園樹, 頂頭部より全葉食害
フキバツタ	カラマツ	追分町(20.00)	
エゾマツノメイガ	トドマツ アカエゾマツ		苗畑
マエアカスカシノメイガ	ヤチダモ	恵庭署, 日高署, 新得署(8.30), 清水署(18.50), 帯広署(11.70), 大樹署(5.40), 上士幌署(96.00), 本別署(55.20), 足寄署(11.90), 陸別署(24.20), 白糠署(15.80), 釧路署(32.80), 阿寒署(11.90), 標茶署(113.00), 弟子屈署(116.00), 中標津署(3.40), 根室署(0.70), 清里町(320.00), 合計(844.80)	このほか十勝, 網走地方を中心に, 天然林その他に全道的に大発生して, 全葉を食害する被害が発生した。
マツノシンマダラメイガ	クロマツ, 他	桧山署(1.00)	その他各地の海岸林
マツツマアカシムシ	クロマツ	東瀬棚署(10.00)	その他各地の海岸林
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ		報告なし。
コスジオビハマキ	トドマツ		報告なし。
タテスジハマキ	トドマツ	大樹署(6.50)	
マツヒメハマキ	ストロブマツ	苫小牧署	
カラマツツツミノガ	カラマツ	札幌市, 江別市	その他各地で発生しているようである。
オビカレハ	広		報告なし
ツガカレハ	トドマツ		報告なし
マイマイガ	カラマツ	札幌市(10.00), 厚真町, 芦別市(5.43), 深川市(20.00), 和寒町(10.00), 斜里町(150.00), 清里町(20.00), 東藻琴町(20.00), 美幌町(3450.00), 津別町(973.00), 合計(4658.43)	大発生は終熄方向にむかい, 実被害は減少している。
ヤナギドクガ	ポブラ		報告なし
キアシドクガ	ミズキ	室蘭署(18.00), 厚賀署(600.00), 浦河署(9604.00), 札幌市	前年につづいて空知, 石狩, 胆振, 日高地方の全域で, 全葉が食害される大発生。
カシワマイマイ	カシワ		報告なし
クワゴマダラヒトリ	広		報告なし
オオチャバネフエダシャク	トドマツ		報告なし
ミスジツマキリエダシャク	カラマツ	清里町(4.24)	
ナミスジフエナミシャク	コバノヤマハンノキ		
セグロシャチホコ	ポブラ	札幌市, 美幌市	その他各地で散見。
ブナアオシャチホコ	ブナ		報告なし
キマダラコウモリ	スギ, ハンノキ類		道南地方で散見
カラマツミキモグリガ			
コスカシバガ	サクラ		公園樹などにひき続き発生
ヒメコガネ	トドマツ他		苗畑
オオスジコガネ	トドマツ, カラマツ, ストロブマツ	森署(11.00), 厚賀署(30.00), 苫小牧署, 倶知安林務署	トドマツ(樹高5~6m)造林木が梢頭部から, 80%以上の食害。

害虫名	樹種	発生地(面積ha)	備考
スジコガネ	トドマツ, カラマツ, マツ類	東瀬棚署(41.00), 黒松内町(7.46) 札幌市(17.00), 静内町(1.90)	
ハンノキハムシ	コバノヤマハンノキ	森署(1.00), 苫小牧署(1.00), 札幌市(3.00), 森町(73.27)	
ドロノキハムシ	ポプラ, ヤナギ	札幌市(1.00)	
マツキボシゾウムシ	クロマツ	東瀬棚署(1.00)	海岸林
マツノキクイ	ストローブマツ	神楽署(0.11)	採種林
カラマツコキクイ	トドマツ		幼齡造林木
トドマツキクイ	トドマツ		各地の天然林
カラマツヤツバキクイ	カラマツ	定山溪署(0.01), 遠軽署(38.31), 北雄署(9.35), 紋別署(6.55), 根室署(4.03), 中標津署(53.00), 標茶署(40.00), 上士幌署(33.60), 陸別署(30.50), 北見林務署(6.00), 興部林務署, 厚真町(1.04), 苫小牧市(9.56), 下川町(0.66), 標津町(5.36), 中標津町(1.50), 鹿追町(0.04), 忠類町(1.00), 東藻琴町(0.10), 小清水町(0.66), 網走市(1.44), 常呂町(1.44), 佐呂間町(1.14), 女満別町(3.08), 美幌町(168.19), 津別町(25.20), 調子府町(3.47), 置戸町(3.35), 端野町(3.27), 北見市(2.77), 生田原町(0.97), 遠軽町(3.01), 白滝町(0.36), 丸瀬布町(1.12), 湧別町(10.82), 上湧別町(6.43), 紋別市(7.69), 滝ノ上町(8.82), 興部町(1.09), 西興部村(1.17), 雄武町(0.72)	遠軽署(被害本数60本, 発生量8㎡), 北雄署 (587本, 37㎡), 紋別署(30本, 2㎡), 根室署 (500本, 250㎡), 中標津署(2500本, 1100㎡), 標茶署(1500本, 650㎡), 陸別署(13500本, 700㎡), 上士幌署(21600本, 1218㎡)
ヤツバキクイ	エゾマツ トウヒ	鶴川署(0.15), 浜頓別署(145.00), 一ノ橋署(9.50)	浜頓別署(770本, 925㎡) 一ノ橋署(106本, 53.9㎡)
シラフヨツボシ ヒゲナガカミキリ	エゾマツ トドマツ	阿寒町, 白糠町, 中標津町	土場材
オオトラカミキリ	トドマツ	森署(43.00)	

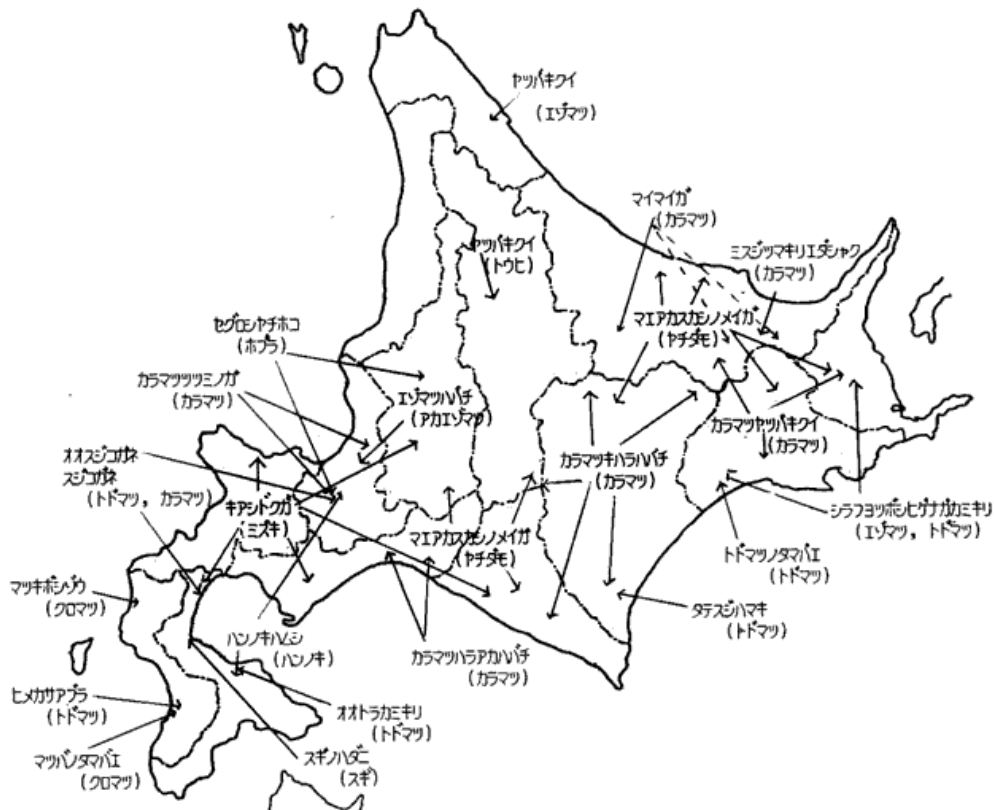


図1 主な森林害虫の発生地

2. 主な害虫の発生動向

当年は恒常的に発生をつづけているオオアブラムシ類のほか、ハバチ類の発生が目立ち、マエアカスカシノメイガ、キアシドクガなど食葉性の害虫が広域的に大発生している。カラマツヤツバキクイの被害は、年々増加の傾向にあって、道東地方を中心に立木被害が多く発生しており、今後さらに警戒する必要がある。

主要害虫の発生動向を要約してみると、次のとおりである。

苗畑では据置きしたトドマツにヒメカサアブラの寄生加害が認められた。このほか土じょう中で根部を加害するヒメコガネ、エゾマツノメイガなどの被害も発生しているようであるが、詳しいことは解っていない。

幼齢造林地ではトドマツオオアブラの恒常的な発生に加えて、アカエゾマツを加害するエゾマツオオアブラの被害が、昭和47年ころより認められ、年々増加の傾向があり、当年の発生面積は3,000 haをこえた。スギノハダニは当年、八雲町に発生したが、前年、大野町、七飯町など道南地方で大発生している。これらの地域からの発生報告はないが、当年もつづいて発生しているものと思われる。

成林した造林地、天然林では各種食葉性害虫の広域的な大発生が目立っている。

ハバチ類は発生した種類数も多いが、カラマツキハラハバチが、日高、十勝地方の内陸にかけて大発生した。カラマツハラアカハバチは前年につづいて、苫小牧市、厚真町、穂別町などに発生し、幼虫の食害時期が秋まで継続することから被害木は枯死する心配もある。エゾマツハバチはこれまで道東地方でしばしば発生が認められていたが、52年に北海道林木育種場（江別市）のアカエゾマツ採種園にも発生があり、当年は周辺の幼齢造林地でも発生が認められた。そのほかサクラ、ナナカマド類の葉を食害するオウトウナメクジハバチの被害が各地で発生しており、また札幌市ではシラカバの頂頭部より全葉を食害するハバチの被害が認められているが、その種類はわかっていない。

ガ類ではマエアカスカシノメイガが、十勝、網走地方を中心にして全道的に大発生し、ヤチダモの造林木、天然木の全葉を丸坊主にする被害が発生している。キアシドクガは昭和50年に歌志内市、

美唄市、札幌市でその発生が認められていらい、毎年、石狩、空知、胆振、日高地方の全域で、ミズキの全葉を食害する大発生がつづいている。このように同じ地域で、毎年大発生をつづけている種は他にその例を知らない。そのほか春はやくカラマツの新葉を加害するカラマツツツミノガの被害が札幌市や江別市に、またポプラの葉をセグロシャチホコが札幌市や美唄市で加害している。

一方、マイマイガは昭和47年に富良野、美瑛地方のカラマツ林に局部的な大発生をみてから、その後次第に発生地域が拡大され、51年には北見から斜里を結ぶ線の周辺地域一帯と、札幌市その他で大発生し、52年にも継続大発生してきた。53年度もなお発生面積は大きい、実質的な食害（被害量）は少なく、発生も終熄方向にむかっているものと考えられる。

食葉性の甲虫による被害では、オオスジコガネ、スジコガネが昭和51年に道南、道央、道北地方とかなり広い地域に発生したが、52年は各地で散見される程度であった。当年は森、厚賀、東瀬棚営林署管内、黒松内町、札幌市など道南、道央の一部地方に発生しているが、トドマツ造林木が梢頭部から下方にむかって、80%以上食害されるなど実被害は大きかったようである。54年は成虫の出現する地域も多いと考えられるので、これまで被害発生の多い地域（道南、道央地方）では本種の発生（7月中旬～8月上旬）に留意する必要がある。このほかハンノキハムシが森町、札幌市、洞爺村などで全葉を食害し、ドロノキハムシは札幌市ほかで散見され個体数も増加しているようである。

虫えいをつくる害虫では、トドマツノタマバエが白糠営林署管内で52年につづいて発生している。この種は芦別市（落合）に発生した記録があるほかは、白老町、浦河町など太平洋側に面した地域に被害発生の多いことが一つの特徴と考えられる。

マツバノタマバエは昭和51年に江差町の砂坂海岸林で被害が確認されていらい、周辺のクロマツ海岸林でも寄生加害が確かめられて、被害面積も増加している。

穿孔性の害虫では、カラマツの除間伐の対象となる林地が多くなっていることもあって、カラマツヤツバキクイによる立木被害が発生している。本種はクイムシ類のなかでは一次加害性の強い

種であるので、繁殖の温床となるような、例えば大径除間伐木を長く林地に放置することなどは極力さけるべきである。そのほかシラフヨツボシヒゲナガカミキリ成虫が山土場材に多く飛来したことが観察されており、オオトラカミキリの被害地が森営林署管内で発見された。また東瀬棚海岸林ではマツキボシゾウムシの寄生によるクロマツの枯損も観察されている。

球果を害する昆虫の被害については、とくに報告されていないが、各地採種園での結実量も増しているようであるので、これらに対する害虫の発生も予想される。

文 献

- 1) 小川 隆：白糠営林署管内に発生したトドマツノタマバエの被害，野ねずみ 146, 33-34 (1978)
- 2) 広田文憲：昭和53年度の病害虫発生状況～道有林一。野ねずみ 148, 50 (1978)
- 3) 篠原 均：昭和53年の森林病害虫の発生状況～民有林の発生速報カードより～，野ねずみ, 148, 51 (1978)
- 4) 小泉 力：海岸林の害虫，マツバノタマバエの被害，林業試験場道支場年報1977, 78 (1978)
- 5) 小泉 力：昭和52年度に発生した森林害虫，北方林業, 30(5), 20-23 (1978)
- 6) 小泉 力，富樫一次：エゾマツハバチの幼虫の形態と生活史，日林誌 61(3) 105-106 (1979)